

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>きよすえきまえ</small> 清洲駅前線					
事業箇所	清須市一 ^{いちば} 場					
事業のあらまし	<p>都市計画道路清洲駅前線は、JR清洲駅と都市計画道路名古屋岐阜線を結ぶ幹線道路である。また、JR清洲駅前では、組合施行による清洲駅前土地区画整理事業が施行中であり、区域内では、都市計画道路清洲駅前線と駅前広場の整備が進められている。</p> <p>本事業区間はこの土地区画整理事業で整備する区間に接続する区間であり、連携して整備を実施することにより、駅前広場へのアクセス性が向上し、交通円滑化が図られる。さらには、土地区画整理事業の事業効果の発現に寄与することで、当該地域の発展が期待される。</p> <p>また、現道の^{おおさとていしやじょうきよす}県道大里停車場清須線は、通勤や通学等のための駅利用者が通行するにもかかわらず、歩道が未整備であり、安全な歩行空間の確保が求められている。</p> <p>このため、「交通円滑化」、「市街地整備の促進」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域の活性化（交通円滑化、市街地整備の促進） ② 交通事故対策の推進（交通安全対策の強化） <p>【副次目標】</p> <p style="text-align: center;">—</p>					
事業費	事業費	内訳				
	9.0 億円	□工事費 1.5 億円、□用補費 7.0 億円、□その他 0.5 億円				
事業期間	採択予定年度	2024 年度	着工予定年度	2024 年度	完成予定年度	2030 年度
事業内容	<p>現道拡幅 延長 L=161m、幅員 W=18m（2 車線）</p>					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 地域の活性化（交通円滑化） <ul style="list-style-type: none"> ・現道はJR清洲駅へのアクセス道路であるにもかかわらず、1車線の道路となっており、交通の円滑化が求められている。 ①-2 地域の活性化（市街地整備の促進） <ul style="list-style-type: none"> ・清洲駅前土地区画整理事業が施行中であり、周辺道路の交通量の増大が懸念される。 ・土地区画整理事業により、新たな住居空間の整備が進められており、事業地内の利便性向上のため、周辺幹線道路とのアクセス性向上が求められている。 ② 交通事故対策の推進（交通安全対策の強化） <ul style="list-style-type: none"> ・現道は、通勤や通学等のための駅利用者が通行するにもかかわらず、歩道が未整備であり、安全な歩行空間の確保が必要である。 				
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間を整備することで、地域の活性化及び交通事故対策の推進が図られるため、事業実施の必要性が高い。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	【事業計画】								
		2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	
	工 種 区 分	調査・設計	←→							
		用地補償		←→						
工事						←→				
	事業費（億円）	8.0				1.0		9.0		
	2) 地元の合意形成	・地元自治体より早期整備の要望を受けている。また、事業に対する地元関係者の関心も高く、地元の合意形成が図られている。								
	判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。							
		【理由】	・地元自治体より早期整備が要望されている。 ・円滑な事業推進に向けた環境が整っており、事業の実効性が確保されている。							
III 対応方針										
	事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～②の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。								
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容										
	■対象（事業完了後5年目） □対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】									
	【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、まちづくりの状況（住宅数、店舗数、人口、駅利用者数等）、安全性の改善状況									